

ソフトウェア検証の標準工法「IT検証標準工法ガイド」を一般公開  
～ 実践的、実務的視点から捉えたテスト工法のガイドライン ～

一般社団法人IT検証産業協会（会長：浅井清孝、略称：IVIA）は、協会内で活用していたソフトウェア検証に関する標準工法の指針「IT検証標準工法ガイド Ver. 1.1」を2014年5月13日に一般公開しました。

「IT検証標準工法ガイド」は、ソフトウェアテストの各工程における作業の概要と実施項目を標準工法として記述したものです。テストに関わる多くの技術者が、標準工法という共通認識を持つことにより、テスト品質とソフトウェア品質を向上させられると考えています。検証業務に関わっている方々に広く活用していただくため、今回一般公開いたしました。

現在、ITに関するソフトウェアは、多くの人々が日常利用する様々なものに搭載されており、もはや人間が活動する上で欠かすことの出来ない基盤と言える状況です。また、ソフトウェアで実現することの要求はより高度で複雑になっており、その動作の影響範囲も広がり、ソフトウェアの品質はさらに高いレベルで求められています。

必然的に、ソフトウェアの開発やテストを行っている現場も無数に存在し、今このときにも多くの人々がソフトウェアの開発やテストに関わっています。しかしながら、ソフトウェアはその性質上、要求項目や実施項目が増えてそこに関わる関係者の数が増えると、各作業の依頼者と実施者が認識を一致させながら、漏れの無い作業を高品質で進めることが容易ではなくなります。

このような課題に対応するために、「IT検証産業協会：IT Verification Industry Association：略称IVIA（アイビア）」では、テスト技術の向上やテストの標準化、およびテスト技術者育成の活動を行っています。

IVIAの標準化部会では、ソフトウェア品質を高い水準で確保すること、および実践的で実務に利用できることを目的として、ソフトウェアテストの標準工法を作成し、協会の会員で活用してきました。

標準工法により、テストに関わる多くの技術者が、同じ認識を持ちながら各作業工程を漏れなく進められるようになり、テスト品質とソフトウェア品質を向上させられると考えています。

#### ■ I T 検証標準工法ガイドの特長

「I T 検証標準工法ガイド」は、ソフトウェアテストの各工程で実施すべき標準工法として、作業の概要説明と実施項目を抽出しています。

〔主な特長〕

- ・実践的、実務的なテストの工法（工程、作業内容、作業項目、インプット／アウトプット）が指針としてまとめられている。
- ・実務経験から導き出された知見が盛り込まれている。
- ・テスト技術者が保有すべきスキルが書かれている。

本日、この「I T 検証標準工法ガイド」を検証業務に関わっている方々に広く活用していただくため、一般公開いたしました。

I V I A は、よりよい I T 検証サービスを目指して会員同士が研鑽し合い、業界の健全なる発展を促進するための活動を今後とも継続していきます。

#### ■ I T 検証標準工法ガイドのダウンロード

<http://www.ivia.or.jp/item/121.html>

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 I T 検証産業協会（I V I A）

Email： [ivia\\_office@ivia.or.jp](mailto:ivia_office@ivia.or.jp)

—以上—